

# 1 教育目標

## 1 教育目標

校訓「真実・和合協力・努力」のもと、知・徳・体の調和がとれた豊かな心をもった生徒を育成する。

- 本当によいもの、正しいものを求めて、創造的に生きる生徒
- 互いを尊敬し、思いやりの心をもって誠実に生きる生徒
- 自己をしっかりと見つめて、たくましく生きる生徒

## 2 経営方針

- (1) あらゆる教育活動の場において、生徒と積極的に関わり、生徒の思いや願いを受け止めた指導をすることで、生きる力の三要素である、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む。
- (2) 進んで研修に取り組み、生徒指導や学習指導における指導力を高め、生徒が意欲的に学び「分かる・できる」喜びを実感することができるように努める。
- (3) 生徒指導の三機能を生かした支援・指導を心がける。生徒や保護者の思いを捉え、生徒一人一人をきちんと理解し、保護者と連携して適切な支援・指導をする。
- (4) 地域社会や家庭との連携を心がけ、生徒の郷土愛・愛校心を育み、地域や家庭と共に生徒を育成する。
- (5) 「ホウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）」を心がけ、教職員間の情報共有に努め、互いに助け合っって生徒を支援・指導する職員集団を目指す。

## 3 令和6年度の重点努力目標

なっぴータイムを土台にし、学級・学年の活動や各教科の授業を通して、自己の考えをすすんで伝えられる生徒、他者の考えを学んで自己の考えを深められる生徒の育成を目指す。学習指導においては、生徒が「分かった」「できた」を実感する授業を目指し、学力の向上を図る。生徒指導においては生徒の思いを捉え、共感的人間関係を育むとともに、生徒の自己指導能力を高める。教職員が連携し、生徒への支援・指導にあたり、誰もが安心してそれぞれの夢・目標に向かって学校生活を送ることができる教育環境を整える。生徒、保護者・地域、教職員にとって魅力的な学校を目指す。

### (1) 心の教育の充実

- ア 生徒指導の三機能「共感的人間関係」「自己決定」「自己存在感」を日々の指導の柱として、相談活動の向上を図り、集団で活動する場面を大切に、仲間を大切に、協力し合っって学級づくりをする生徒を育成する。
- イ 自立と自律の心を育て、当たり前のことを当たり前に行える生徒を育成し、大きな声で挨拶がとびかい、歌声が響くような、生徒も職員も元気な学校を目指す。
- ウ 道徳の授業や「いいところみつけ」活動を通して、自らの良さに気づいて自尊感情を育むとともに、他者の良さを認め、互いを思いやる心（南中ハート）をもった生徒を育成する。
- エ 学校行事や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に参加し、進んで自分の役割を果たすことにより「働くこと」について学び、生徒が感動と達成感を味わうことのできる活動を行う。

### (2) 学習指導の充実

- ア 「南中学習ルール5か条」を基に、楽しい授業、分かる授業づくりに努め、生徒にとって「分かった」「できた」という実感と参加する喜びを味わうことのできる授業を目指す。
- イ 一人一人の特性を理解し、個に応じた学習支援に努める。
- ウ 授業の充実と家庭学習の習慣化で、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、学力向上を目指す。

### (3) 体力づくり、健康で安全な教育の推進

- ア 部活動の指導方法の工夫に努め、「心」の育成を重視し、心・技・体の調和のとれた成長を目指す。
- イ 自分の体力向上と健康づくりに関心を持ち、安全に意欲的に学校生活を送ることができる生徒を育成する。
- ウ アレルギー対応、熱中症対策、新型コロナウイルス対策等、安全に関する知識、技能を教職員がしっかりとをもって支援・指導する。

### (4) 教職員の資質・指導力向上の推進

- ア 授業研究会や授業公開、各種研修会等により、教職員としての力量を高め、教育活動の充実を図る。
- イ 教育活動の充実と見直しを図りつつ、教職員として働き方改革に努める。

### (5) 家庭や地域に信頼される学校づくりの推進

- ア 地域ボランティアに積極的に参加するなかで、地域の一員であるという自覚と奉仕の心を育てる。
- イ 地域に開かれた学校を目指すとともに、郷土を愛する生徒の育成に努める。